



○ 山門や柱にあらぬ 藤の花 把栗

○ 臘夜の餅くらんか 燈の舟 今

○ 行燈に三月尽の油 かな 珀格桐

○ 低き木に花藤咲いて 居る山路かな 今

○ 大佛を写真に取る 春の山 今

○ 行く春をてや鳥と 鳥の別れ 紅緑

○ 遅き日を山ぬれ 軒の蟻の塔 今

○ 行く春をてや鳥と 鳥の別れ 紅緑

○ 遅き日を山ぬれ 軒の蟻の塔 今

○ 行く春をてや鳥と 鳥の別れ 紅緑

春

○ 砂濱に松あり 春の月 塵子

○ ぬるじい山草花出 した村の春 碧松桐

○ 行く春の雲五色に 散れたる 塵子

○ ちりつて 卯の刻 雨ふらぬ 碧松桐

○ 砂土の墓を 早をまきし 今

○ 行春や 只は 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松

○ 行春や 柳の 柳と古柳 萩松



正岡子規選句草稿



本館文庫
文庫 14
A 10



正岡子規選句草稿



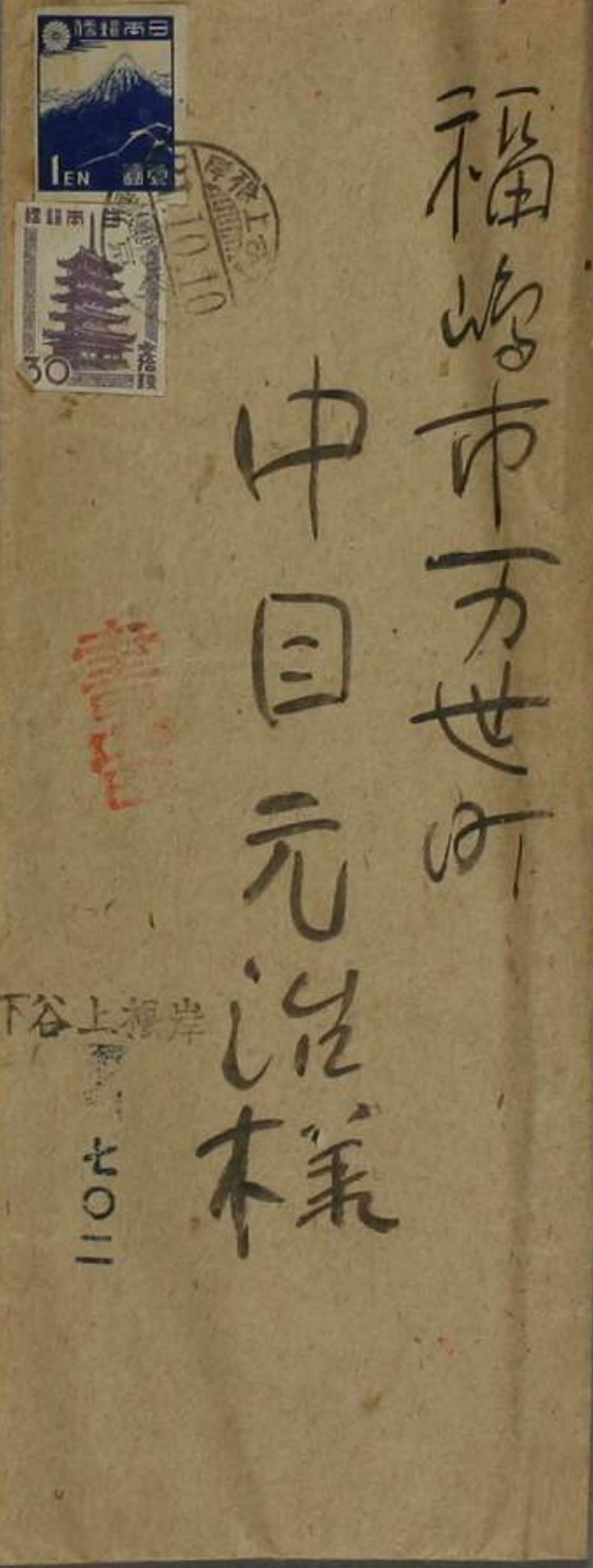


平岡久雄

あはれ 子規 庵主修 漢
つとむ家のおい 年謝 安我
子規之生也 五平 杉本 出 贈 呈
中 一 一

中日様





福島市万世町

中目元
治
義
木

下谷上柳岸
七〇二

丁未二月

東京市立之柳亭ハニ
以規庵保存会